

透析施設における『有毒ガス発生』 に関する当院での安全対策について

最近、透析施設における有害ガス（塩素ガス）発生事故が話題になっております。中には患者様に気分不快等の症状が出るなど被害が大きい事故もあり、テレビや新聞で目にして不安に感じた方もいらっしゃるかもしれません。

塩素ガスの発生原因は、『次亜塩素酸ナトリウム溶液』と『酸性溶液』を誤って混ぜてしまうことです。この2種類の溶剤は透析装置の配管内を洗浄するために必要な薬剤であり、当院でも2剤とも使用しています。

当院での事故防止対策としては、

- ・各薬剤のボトルは、大きさ・形状が大きく異なるものとする。
- ・補充先のタンクは、大きさ・形状が大きく異なるものとする。
- ・薬剤の保管場所や補充先のタンクは、隣り合わないようにする。
- ・補充作業を2剤同時に行わない。

とし、補充間違いによる混合が起きないように配慮しております。

清潔で安全な透析を行うために、必要不可欠な薬剤・作業です。今後も安全を第一に、慎重に管理し丁寧な作業を行ってまいります。

2025年4月30日
登別記念病院 臨床工学室